（第３種郵便物認可）　1998年（平成10年）12月22日（火曜日）　第３社会　（14）

片岡鶴太郎美術館 オープン

草津 水墨画、陶器など100点

タレント活動の傍ら、水墨画など全手掛けている片岡鶴太郎さんの作品を常設展示する「草津 片岡鶴太郎美術館」が二十一日、草津町草津の四季の郷公園内にオープンした。太郎さんの絵には統一観察力、延べ床面積約四百七十五平方メートル、内装は土壁といった独自の色彩感を感じる。開館記念展は「この上ない贅沢」と題し、館内には水墨画、陶器など約百点が展示されている。

黒岩館長（左）とともに作品を見て回る鶴太郎さん

黒岩館長（左）とともに作品を見て回る鶴太郎さん

同美術館は一九九六年、黒岩館長が鶴太郎さんの絵に魅せられたことがきっかけで、構想が持ち上がった。施設は、鉄筋コンクリート二階建て。学生・子供六百円となっている。開館時間は午前八時から午後六時まで。大人五百円、問い合わせは、同美術館（☎0279・88・1011）へ。

戸籍事務を電算処理

村部で県内初　白沢村でスタート

祝 戸籍総合システム始動式

戸籍事務のコンピューター化はきょう、白沢村役場で行われた「戸籍総合システム始動式」であいさつした中村昌樹村長（右）ら関係者

白沢村は二十一日、戸籍事務のコンピューター処理をスタートした。コンピューター化は昨年度から研究していた。これまで戸籍事務は一人の職員が担当していたが、大人がテープカットを行い、システム担当以外の職員にも操作できるようにした。新しいシステムが始動。中村村長が自らの第一号として発行した。

村によると、システム導入費二千万円で、コンピューター化によって検索時間や記載時間が短縮され、従来の二十分から五分に、転籍での戸籍謄本作成が従来の二十分から五分に、転籍での戸籍謄本作成が従来の三十分が十五分に短縮されるという。

この後、中村村長と奏原和平同村議会議長、伊能利男前職地方法務局支局長の三人がテープカットを行い、システム始動。中村村長が自らの第一号として発行した。

村によると、システム導入費二千万円で、コンピューター化によって検索時間や記載時間が短縮され、従来の二十分から五分に、転籍での戸籍謄本作成が従来の三十分が十五分に短縮されるという。

思い出持ち帰って

中里村　スリランカ人研修開始

中里村神ノ原の同村基集住宅団地＝建設業者などで作る新生宅団地＝建設業者などで作る新生宅団地＝建設業者などで作る新生